


富雄南中学校区

めざす子ども像

- ・ 学びを大切にする園児児童生徒
- ・ 仲間を大切にする園児児童生徒
- ・ 命を大切にする園児児童生徒

富雄南中学校区 地域教育協議会

<p>地域・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生参画プロジェクトの取組で、大学生との意見交換会で参加した子ども達は自分の意見をしっかり出せていた。これは伸ばしたい子どもの力「自ら考え行動する力」が身につけてきている。 ・ 新型コロナ禍の中、お互いの表情が見えない環境で、幼児教育における育成に課題が出てきている。また子ども達同士の中でも表情が見えづらい状況でコミュニケーション不足が課題。 ・ 家庭環境だけでなく、様々な場面で子どもたちの自然体験不足、体力の低下が課題となっている。 ・ 子どもたちが積極的にボランティア活動に取り組む姿が見えてきているが、コロナ禍でその場面の機会が奪われている。 ・ 地域、各団体、学校、保護者が各校園の環境整備や見守り活動に取り組もうとしているが機会が奪われている。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら考え行動する力の向上。 人との繋がりを大切にし、コミュニケーション能力の向上、学力の向上。 思いやりや、挨拶ができる能力を身に着ける。</p>
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもに豊かな心と生きる力のもととなる確かな学力を育むために、地域の人材を活用し、読書活動や体験学習、英語・情報・特別支援教育の充実を図る。 ・ 地域が一体となった安全・見守り活動の促進。 ・ 大学生参画事業の取組を活用し、身近なお兄さんお姉さんと一緒に児童・生徒がアイデアを出し合い、仮称「学びフェスタ」の企画立案から運営までを行う。 ・ 各校園一斉「花いっぱい運動」の展開。 ・ 中学生、小学生のボランティア活動（とみにゃんクラブ・とみにゃんkids）を通して、自ら考え行動する力や、異年齢との繋がり、地域の方との交流。 <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

▶富雄南中学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も新型コロナウイルス感染症により多くの制限があり、活動に影響が出た。しかし、様々な工夫を行い、少しずつ本来の活動に戻りつつある。 ・本校では「人の思いや意見をしっかりと受け止め、正しく判断し、ポジティブに行動できる生徒の育成」を目指しており、その目標のもと、生徒会からあいさつ運動やクリーンキャンペーンの呼びかけ等、諸活動にポジティブに動く子どもたちの姿がみられる。 ・地域と交流・協働する機会を積極的に作り、生徒会やとみにゃんクラブ、部活動部員として参加しようとする姿勢がある。教育に対して、熱心な家庭が多いため、学習意欲の高い子どもが多い反面、コミュニケーションや自己表現という面は苦手な子どもが多い。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>自ら考え、その考えや思いをうまく言語化し伝えることができる力 自分の将来像を描き、進路獲得に必要な学力を身につけ自己実現していく力 自他を大切にし、他人の話を聞き、周りの人とのつながりや思いやりを感じて自ら行動できる力</p>
<p>取組内容</p>	<p>生徒会・学級活動や地域に開かれた学校行事、地域の協力のもと行う環境整備や地域行事参加等、子どもたちが積極的に参画できる場を設けることで、『自分・他人・地域を尊重する心』および『伝える力、聴く心』のもと、周りの状況に応じた判断をし、自主的に行動できる子どもたちを育てる。</p>



▶富雄南小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境を活かした教育活動や、多くの人々とのふれあい体験活動である「チャレンジタイム」を通して、児童は生活している地域に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につけることができる。この実践が本校の特色ある教育活動として、地域を愛する心や地域を誇りに思う心、郷土を誇りに思い愛する心を育て、よりよい生き方を追究する力を育てているものである。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境や地域の人々とのふれあいを活かした教育活動・体験を重視した学習を通して、地域に関心を持ち、主体的に学ぶ姿勢を身につける。また、「読書活動」の「ファンタジータイム」を通して、「読む」「聞く」の力と、和楽器等の「音楽体験事業」を通して「表現する」力を、さらに伸ばしていきたい。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書の実践、ボランティアによる朝読書（ファンタジータイム）や絵本の読み聞かせの会などを通して、読書に親しみ、豊かな心と言語力を育てる。 ・地域の方々とのふれあうことで、コミュニケーション能力を高め、生きる力を育てるとともに、自ら考え行動できる児童を育てる。



▶三碓小学校 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校には、知識豊富な子どもたちが多く、しかし、その知識は紙面やネットの中からの情報であることも多い。知識だけでなく、より豊かな感性や創造力、表現力を身に付けていくため、身近な地域に存在する「もの・人・こと」を学習材に取り入れていく。「実物に触れる学習」や読書活動を推進するための校内の環境整備も必要である。 ・地域の方々の協力を得て、「体験を通したモノづくりへの興味関心の高まり」「様々な人とふれあう楽しさ」「地域・郷土愛の芽生え」という成果が見られつつある。そのため、今後も実物に触れる（実際にやってみる）体験活動、地域の方々と触れ合う体験活動を取り入れていく必要がある。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題や問題を見つける力 ・自分なりに探究し、課題を解決する力 ・自分なりの考えを持ち、考えたことを周りに伝える力 ・思いやりを持ち、周りとの協働できる力
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備や地域の方と連携した実物に触れる体験活動を通して、子どもたちの探究心を高め、豊かな想像力を育み、創造力を広げる。 ・心とむ学習環境を整備し、児童の豊かな感性を醸成する。 ・ボランティア活動の経験の場として、慣れた三碓小学校で活動する場を設定し、校内美化などの環境整備事業への参加を促す。



▶富雄南こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園では、長時間園で過ごす子どもがおり、心身の負担に配慮した個々への援助や、保護者との連携が大切である。保育料無償化に伴い保護者の就労も増え、親子で触れ合う時間がなかなかもてなかったり、保護者支援が必要であったりする。 ・コロナ禍で活動に様々な制限があり、友達と一緒にのびのびと体を動かすことや、様々な人と接する機会をもつことが難しい。しかし、保育内容を工夫しながら地域の方と触れ合い活動をしたり、友達と関わりながら思いきり体を動かし遊ぶことを楽しんでいる。 ・保護者は、園教育への理解に協力的で教育活動においても熱心である。3歳児から5歳児が在籍した保育を行っていることから、異年齢の姿を見て憧れや優しく接する気持ちをもったり、互いに刺激し合ったりしながら、3年間継続した様々な遊びや活動に取り組んでいる。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<p>○心身共に健康で生きる喜びを感じることでできる子どもの育成をめざして「明るく 伸びる 強くなる」子どもの育成を教育目標に掲げていることから、“挨拶を大切にし、みんなとなかよくする力”、“自分からすすんで取り組む力”、“最後までやり遂げようとする力”を育てる。</p>
<p>取組内容</p>	<p>○ゲストティーチャーを招聘し、『サッカー教室』や『キッズイングリッシュ』『みんなで遊ぼう』などの活動を計画的に行い、英語に親しんだり、友達と一緒に体を動かす楽しさを味わったりなど、多様な体験を重ねることで、人と関わる力や主体的に物事に関わる意欲を育てる。</p> <p>○『とみなん文庫』の貸し出しや『野の花ぶんこ』の方による読み聞かせ活動に取り組み、絵本やお話などを見たり聞いたりすることで、興味関心を高め、豊かな心情を育む。</p>



▶学園南こども園 運営委員会

<p>学校園・子どもの現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児から5歳児までが在園し、保護者は共働きで通勤時間が長い家庭が多い。早朝から夕方までの長時間保育利用になり、家庭で過ごす時間が短く、時間にゆとりがない家庭が多い。 ・異年齢児であこがれを持ったり思いやりの心を持ったり、お互いが影響しあって成長している。 ・生活の様々な場面で便利になっていく反面、自分自身で考えたり動いたりなど、生活経験が乏しくなっていると感じられる。 ・自然体験や全身を使った遊びの経験が少ないため、体力（体幹）の弱さがある。
<p>伸ばしたい子どもの具体的な力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を十分に動かし、自分の体を調節する力。 ・異年齢児や友だちと一緒に遊ぶ喜びを感じながら協力する力。 ・感じたことや考えたことを表現する力。 ・自然に触れて身近な事象への関心を持ち、豊かな心が育ち、自然への愛情をもつ力。
<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動を通して、基礎体力を養い、基礎的な運動能力や体幹を身につける。 ・絵本やおはなしなど見たり聞いたりしてイメージや感性を高め、豊かな心を育む。 ・地域の方と身近な自然に関わり、つながりを広げたり、自然への興味関心を深める。

